

櫻井賞

平成 27 年度櫻井賞第 43 回受賞者

受賞者: 門馬綱一 会員 (国立科学博物館地学研究部)



1980年3月20日生まれ。2004年3月東北大学理学部卒業。2006年3月東北大学大学院理学研究科博士前期課程修了。2009年3月東北大学大学院理学研究科博士後期課程修了(博士:理学)。2009年4月物質・材料研究機構研究員。2011年4月国立科学博物館研究員。2016年9月現在に至る。

対象鉱物: 千葉石

K. Momma, T. Ikeda, K. Nishikubo, N. Takahashi, C. Honma, M. Takada, Y. Furukawa, T. Nagase and Y. Kudoh: New silica clathrate minerals that are isostructural with natural gas hydrates. *Nature Communications*, 2, 196, doi:10.1038/ncomms 1196 (2011).

推薦理由:

門馬会員は、千葉県南房総市荒川の中新世の砂岩を切る方解石脈から、有機ガスを内包するシリカクラスレートである千葉石を記載した。天然でこのような仲間は、1876年に発見されたメラノフローク石だけであったが、合成で知られていた千葉石相当の立方晶系相の存在を明らかにしたことは、鉱物学的にも地質学的にも極めて重要な業績である。さらに、千葉石結晶中に、六方晶系の有機ガスを内包するシリカクラスレート相である房総石も発見し、国際鉱物学連合の新鉱物・命名・分類委員会から新鉱物の承認を受けている。

そのほか、門馬会員は、卓越した結晶構造解析技術などにより、箕面石、今吉石、三崎石、伊予石、島崎石、苦土ローランド石、三重石、豊石といった 8 つの新鉱物の共同記者にもなっている。櫻井賞選考委員会は、これらの貢献も考慮して、門馬綱一会員を平成 27 年度櫻井賞(第 43 回)受賞者として推薦するものである。